

北九州憲法ネット 次長会議レジメ^{決定} (08.6.16)

参加(荒巻、三輪、須崎、野瀬)

経過

- ・ 憲法意見広告を進める北九州の会総会・総括文書
- ・ 渡辺治憲法講演会(報告)

2、検討事項

年次総会準備

- ・ 日時と会場 8月2日 15時開会 ムーブ

・ 次第

開会の挨拶(司会)	3分	・・・	(後藤次長)
座長挨拶	5分		(荒牧座長)
議長就任	2分		(健和労組から)
報告と提案	10分		(三輪副座長)
意見発表(討議)	15分		

* 幾人かの九条の会活動報告をリレートーク風に行う。

まとめと新役員代表の挨拶 5分 (荒牧座長)

閉会挨拶 3分 (後藤次長)

・・・・・・計43分

- ・ 総会に関する作業。

議案の検討・・・・・・本日

合同会議の日程(7月2日)於市立生涯学習総合センター(A会議室)

新年度の役員への就任要請・文書を出し、電話での確認。

* 役員・・・代表世話人には、基本的には「留任」をお願いし、だめな場合は連絡方お願いし、最低、電話する。当日参加を要請し、できれば挨拶(一言)をお願いする。新しく世話人をお願いする方(候補)・・・清水氏、竹内氏(担当三輪副座長、迎氏(担当 荒巻座長)。

事務局・・・体調などの配慮で退任の方は、西氏、宮崎氏。交代を含めて意向をお聞きする方は田中麻美氏 近藤伊都子氏。新規に要請する方・・・後藤氏と、藤井氏、尼寺氏、三輪幸子氏(担当は三輪副座長)

* 議案・・・本日の野瀬提案を含めて、三輪座長が調整して作成する。経過や財政議案はメールで三輪副座長に集中する。

* その他・・・地域九条の会の情報は、須崎事務局次長に集中する。(ニュース など)

事務局会議のあり方について、引き続き検討をつづける(会議を増やさずに工夫するなど)

その他

- ・ 共同センターの今後の計画・・・宣伝や署名集約体制について論議中

6月21日「第7回憲法闘争全国交流会」(於東京)に北九州より参加し、26日に事務局会議で報告し、北九州の運動の具体化を論議の予定。

- ・「平和のための戦争展」が9月23日に小沢隆一氏(憲法学者)を招き、講演会を行う。北九州共同センターと、憲法ネットからも後援を行い、参加者の組織化を要請されている。(総会で確認)
- ・青年対策懇談会・・・青年の平和問題への参加を促進するための関係団体・個人の懇談会を開催する。平和委員会、憲法ネット、戦争展、原水協、民青などによびかける。(6月18日18時30分 市立生涯学習総合センター)
- ・北九州母親大会への挨拶依頼・・・7月6日13時若松市民会館で、来賓挨拶
(三輪副座長挨拶する)

北九州憲法ネットの活動方針案(野瀬提案)

憲法ネットの果たす役割を明確にして、地域の憲法運動の発展をめざす。

地域の九条の会の校区ごとの確立を目指す。また、既存の九条の会の活動支援を行う。

具体的な支援行動・・・ 九条の会づくり相談活動 交流会の開催、地域の会発行チラシづくり支援、資料整備、講師斡旋など。

- * 憲法講師団の強化と利用方法の改善を推進する。
- * 憲法ネットのホームページを充実し、魅力ある9条運動をめざし、宣伝する。

若者対策も重要な任務とする。

労組や民主団体、政党など若者関係者との協議を続け、系統的な若者との交流と活動の支援などを行う。

(08年6月18日に第一回の関係団体懇談会を開く。18時30分、市立生涯学習総合センター)

地域の共闘を発展させる

憲法改悪反対北九州共同センターとの連携を強め、労組や民主団体などと協力して、地域全体の憲法運動を発展させる。

- * 大規模な学習会、地域ごとの連鎖小集会、宣伝行動の成功のために尽力する。
- * 新聞意見広告などの新たな宣伝手法に積極的に関わる。